

# 田上町 議会だより

第88号

■平成23年4月22日 発行



▲ 入園・進級おめでとう

---

3月定例議会、請願	2~3P
一般質問	4~8P
平成23年度予算	9P
予算審査特別委員会	10~11P
付託案件審査報告	12~13P
所管事務調査報告	14~15P
議員全員協議会	16P
一部事務組合報告	17P
議員活動あれこれ／編集後記	18P

---

新しいまちづくり「輝くまち田上」の実現を目標に予算編成



▲町長の施政方針を聴く

平成23年度 一般会計 当初予算 43億6,700万円

定例会の経過

初日本会議

- 人事案件上程
人権擁護委員の推薦
金森 恵子氏
吉澤 恵智子氏
長沼 公氏

- 平成23年度予算案上程
(町長施政方針演説・予算審査特別委員会設置及び付託)
同年度予算関連議案上程
(提案説明・質疑・予算特別委員会付託)
その他議案上程
(提案説明・質疑・各常任委員会付託または討論・採決)

常任委員会

総務産経常任委員会

- 専決処分(平成22年度一般会計補正予算(第6号))の報告について
田上町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について
田上町ふるさとづくり基金条例の廃止について
田上町人材育成基金条例の廃止について
田上町地域環境保全基金条例の廃止
平成22年度田上町一般会計補正予算(第7号)議定について
同年度田上町下水道事業特別会計補正予算(第3号)議定について
同年度田上町集落排水事業特別会計補正予算(第2号)議定について
同年度田上町水道事業会計補正予算(第5号)議定について

社会文教常任委員会

- 平成22年度田上町一般会計補正予算(第7号)議定について
同年度田上町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)議定について
同年度田上町老人保健特別会計補正予算(第1号)議定について
同年度田上町訪問看護事業特別会計補正予算(第3号)議定について
同年度田上町介護保険特別会計補正予算(第3号)議定について

本会議

- 緊急質問
平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震の被災者支援について
一般質問(5名)
議案審議
(委員長報告・質疑・討論・採決)



▲緊急質問する児玉議員

特別委員会

予算審査特別委員会

- 田上町課設置条例の一部改正について
田上町職員定数条例の一部改正について
田上町議会政務調査費の交付に関する条例の一部改正について
田上町国民健康保険条例の一部改正について

最終日本会議

- 議案審議
(委員長報告・質疑・討論・採決)
提案された30議案、全て承認
原案可決となりました。

請願

Table with 5 columns: 請願番号, 件名, 請願者の住所・氏名, 審査結果, 意見書提出先. Contains 2 entries regarding road recognition and medical care.



関根 一義 議員

明・協議するとしていた。こうした経過から実施設計まで至っていないことは明らかである。



斎藤 勲 議員

新たな視点と第4次総合計画の反省と総括を明らかにして下さい。

# 一般質問

## 第5次総合計画より質す

**町長** 1点目は町づくり懇談会(仮称)を開催し、町民及び各種団体の意見を反映したいと考えています。

2点目は町民ニーズに実現性の高い事業を進めます。

3点目は、町の特性を活かした町づくりを進めます。

第4次総合計画の総括と反省は職員を中心に「総合計画策定委員会」を設置しています。平成22年度中に総括を終え、6月には議会に示します。

## 「五明寺トンネル改修」の実設計の実施は、議論経過を逸脱するもの

**問** 町長は、施政方針で五明寺トンネル改修の実設計を行うとしている。2月3日の全員協議会における議論は、当初計画の4億8千800万円としていたが、これが、事業費8億円、付帯事業を入れれば10億円にもなるうとしていた。新たな改良計画が「まちづくり財政計画」を大きく超えていることから、費用対効果の疑問を指摘した。全協における町長答弁は、実効性ある事業とするため引続き説明・協議するとしていた。

**問** 特養待機者の解消を目指し介護保険施設の活用について答えて下さい。

## 子どもの権利条例の制定を

**町長** 当町では138名の特養待機者がいます。ショートステイ、デイサービス等の利用効率を高め解消を図っていきます。

**町長** 現在は条例がなくても必要なことは行っており、制定の必要はないと考えています。

**町長** 予算はあくまでも交付金事業に沿って計上したものであり、実施設計までに至っていないと言っているのはそのとおりである。今後の議論によっては計画全体の予算変更などもせざるを得ないと思っている。

## 「特養待機者解消」を掲げて5年、新たな決意を!

**問** 町長が施政方針で最初に「特養待機者の解消」を掲げたのは平成18年度である。

しかし現状は、解消どころか待機者は益々増加してきている。町長は、平成23年度を特養待機者解消の新たなスタートとして位置付けるべきだ。

## 大型公共事業は住民説明をしっかりと

**問** 五明寺トンネル改修工事などの大型公共事業は丁寧な住民説明が求められますが、町長の考えを聞かせて下さい。

**町長** 指摘のように説明不足があるかも知れませんが、今後は住民との直接の懇談会などで意見を聞くようにします。

## エコタウンの一環として

**問** 3月11日に東日本大震災が起きて原発の事故で住民が避難をしています。このことは今後のエネルギーの対策が根本から問われています。町長はこ

**町長** 特養待機者問題は経済的な面が大きいことは指摘のとおりである。いずれこの問題については抜本的な検討を重ねる必要があると考えており、今後の大きな課題として取り組んでいきたい。

## 農業の6次産業化及び産直施設実現に決断を!

**問** 町長は田上町の農業を6次産業化の方向に持っていきたい。また平成23年度は、農業者から要望のある産直施設について検討する1年になると述べている。構想にとどめてはいけな

実現への決断を求めたい。  
**町長** 国が主導している農業者を中心とした6次産業化の立ち上げに、町も後押しをしていく。

のことに鑑み当町でも太陽光発電に補助金の制度を導入する考えはありませんか。

**町長** 現在は補助金制度を制定する考えはありません。



▲個人住宅に設置の太陽光発電に補助制度を

**問** ごみの減量化が進みません。今後は加茂市と田上町とのゴミの出し具合で負担を決められる成果主義を導入できませんか。

**町長** 施設全体の維持管理にかかる経費を7対3で負担をしています。焼却施設及び生ゴミの堆肥化は加茂市・田上町消防衛生組合で話し合っており必要があると考えています。

産直施設は、いずれ加工場も備えた直売所にしていく必要があると考えている。



▲ごまどう直売所

★その他、「救急救命センター及び併設病院の整備について」及び「国家予算審議の動向と町政への影響について」質問しました。



川口 與志郎 議員

この家族の年間の国保料は田上町では四十二万九千八百三

一般会計から国保会計の法定外の繰り入れについてでありま

二月三日の町議会全員協議会で坂田・湯川三号線道路改良計画として概算工事費八億二千万円から九億八千万円を使うことが執行によって示されました。大型観光バスがすれ違



▲五明寺トンネル

# 一般質問



塚野 一三三 議員

## 予算関連法案と町の対応について

問 昨年は長年の念願でありました竹の友幼稚園のオープンをはじめ、中学校の武道場建設、旧竹の友幼稚園を原ヶ崎交流センターとしての利用は町民から期待が寄せられております。22年度は地方交付税が割合順調に入り、町内の整備ができましたことは幸いしましたが、昨今の国会での予算審議を伺っていると現実子ども手当は大

町長 子ども手当についての関連法案は平成23年3月31日末までの時限立法ですので、関連法案が通らなければ期限切れとなり、以前の児童手当法に基づき支給となります。あくまでも国の法律に基づく制度であり法案の行方に従うこととなります。

町長 町づくりにもつながることから産業振興課が事務局を担当しており、今後具体的に検討してまいります。

## 町の産業の育成と403号線バイパスの現状は

問 町の歳入の大部分を占めている町税の増加を図っていくには産業の発展は不可欠です。さらに、403号線バイパスの重要性が一層問われています。現状と将来性についてお示しく

もし、関連法案が通らないときは、田上町はどのような対応を取られるのかお示しく

問 平成20年9月、農商工連携等促進法に基づく展開が行われ、湯田上温泉では昨年より商工会が中心となり、地元で栽培された梅・桃・枝豆・レクチ

## 特産物の直売所の開設を



▲田上町の特産品

町長 22年度で才歩川から中店農免までの用地買収が終わりました。また、中店農免から新

## 高すぎる国民健康保険料について

問 残念ながら田上町の国保料は県内の自治体との比較で、高額な料金設定になっており

町長は田上の住民の長として、この実態をどのように受け止めますか。心が痛みませんでしょうか、伺います。一般会計から国保の基金への繰り入れを

## 五明寺トンネルの改修について

問 五明寺トンネルは八億円から十億円使う新設トンネルではなくて、安全第一かつ効果的な今使っているトンネルの改修を行うべきだと思

町長 国の新しい交付金事業が創設されたことを受け計画したものです。現状では国の交付金

平成二十二年度ではモデル世帯、標準世帯での比較で県内三十自治体のなかで、一番高い国保料になっています。

町長 新潟県の国保連合会の資料によりますと平成二十二

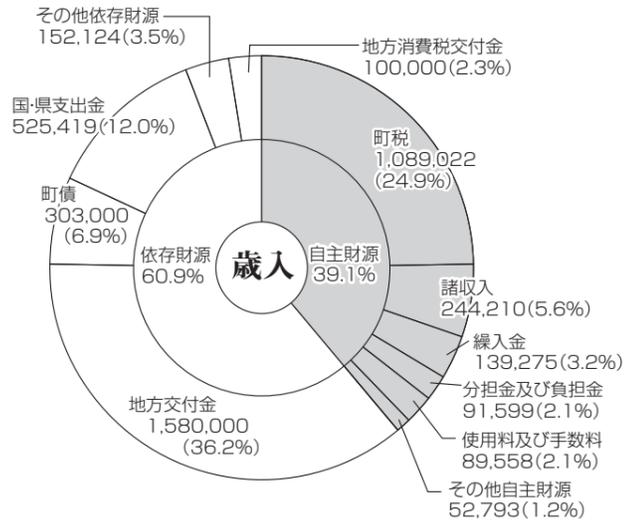
五明寺トンネルは八億円から十億円使う新設トンネルではなくて、安全第一かつ効果的な今使っているトンネルの改修を行うべきだと思

町長 国の新しい交付金事業が創設されたことを受け計画したものです。現状では国の交付金

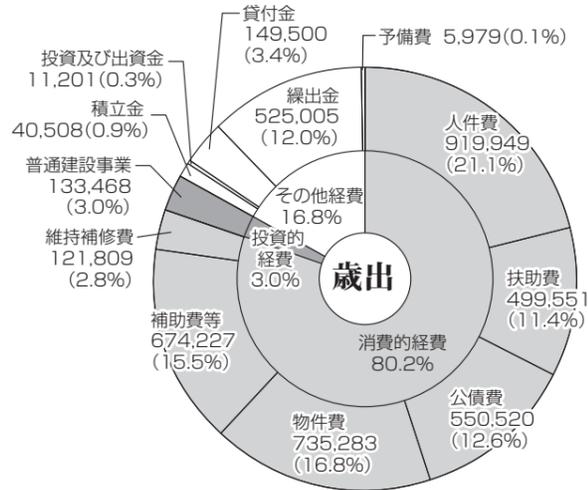
# 平成23年度各会計当初予算

一般会計 43億6,700万円 ※22年度 42億1,700万円と比べ、3.6% 1億5,000万円増額

歳入予算財源構成比 (単位:千円)

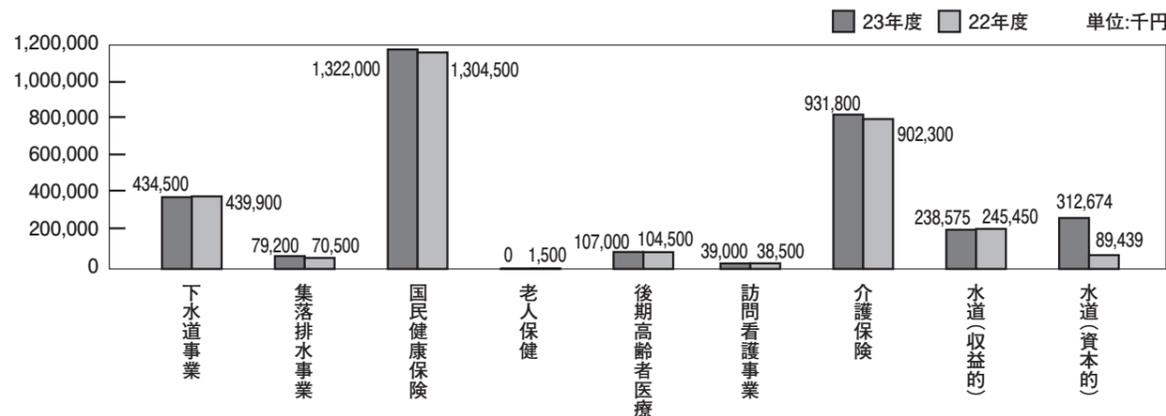


性質別歳出予算構成比 (単位:千円)



特別会計・企業会計

区分	23年度	22年度	増減	
下水道事業特別会計	4億3,450万円	4億3,990万円	△540万円	
集落排水事業特別会計	7,920万円	7,050万円	870万円	
国民健康保険特別会計	13億2,200万円	13億450万円	1,750万円	
老人保健特別会計	-	150万円	皆減	
後期高齢者医療特別会計	1億700万円	1億450万円	250万円	
訪問看護事業特別会計	3,900万円	3,850万円	50万円	
介護保険特別会計	9億3,180万円	9億230万円	2,950万円	
水道事業会計	収益的支出	2億3,857万5,000円	2億4,545万円	687万5,000円
	資本的支出	3億1,267万4,000円	8,943万9,000円	2億2,323万5,000円



# 一般質問



池井 豊 議員

## 施政方針を受けて 5つの質問

**問** 町長はこの「自立する町」を多用していますが、具体的にどんなものをイメージしているのか？

また、「輝く町田上」と言っているが、どのような状態が「輝く町田上」なのか具体的にお示し下さい。

**町長** 第4次総合計画の町づくりのテーマ、将来像として位置づけられているものです。輝く町とは厳しい時代環境にひるむことなく、田上町の潜在能力や可能性を信じ、勇気とチャレンジ精神を持って町の宝を作り、磨くことよって新しい魅力や可能性を開拓していく町を意味しております。

**問** 第5次総合計画の策定について「新しい視点が必要であり」とのべているが新しい視点とは何か？

**町長** 町民と協働の町づくりによる計画づくりを行いたいと考えております。その方法は、アンケート調査を行い、町づくり懇談会を開催して、地域の課題等の意見交換の中で町民意向を把握していきます。

**問** 旧保育所の用地売却について触れられているが、用地売却の見込みはどのように予測しているのか？

また、他の町有地の売却についてはどのように考えているのか？

**町長** 現時点におきましては2件の問い合わせが来ております。条件が整ってからの一般競争入札を基本に売却する予定でいます。他の町有地も検討しています。



▲直売所の野菜

**問** 「地産地消の取り組み」とあるが具体的にはどのようなことか？

直売所も出来ているが現実的に田上産の農作物を購入することは難しい。対策は？

**町長** 食育推進計画でも田上でとれる野菜をたくさん食べようという柱のもとに、指導してまいります。田上町農商工連携の地域協議会の中でも検討してまいります。



▲消防団定期演習

**問** 女性消防団の活動として、「住宅用火災警報器の普及促進」と有るが発足時には義務化されているのでは？また、警報器の普及率は全国平均63.6%の中、県平均は49.8%、加茂地域では45.5%とかなり低い数字になっているがこの対応はどのように考えているのか？

**町長** ホームページや広報紙による広報活動や消防団員による世帯のチラシの配布などの広報活動を予定しているところであります。



▲関根 委員長

▲坪谷 副委員長

◎震災対応における指定管理者制度について

**問** 大震災の影響で指定管理者制度導入のYOU・遊ランド、椿寿荘の営業に支障が出て損失が生じた場合、指定管理者制度の存続のために損失補てんをどのように対応するのか。

**町長** 損失補てんは今後指定管理者と話をして対応していきたい。椿寿荘については、影響がどの程度まで及ぶか見定める必要があると思う。

◎今後の椿寿荘のあり方について

**問**

- ① 内部の陳列品のあり方について
- ② 園内に生活廃水が流れ込んでいるが、流れないようにできないか。
- ③ 6年後に築100年になるが、維



椿寿荘



委員会に付託された議案は、条例の一部改正4件等のほか平成23年度一般会計予算及び特別会計など13件でありました。

予算審査は、町の将来を見つめ長期的な観点からその是非を問い、不要不急な歳出を排し町民の利益を求めめることを念頭に審査を行いました。

歳入では、国の地方財政計画が町財政へ及ぼす影響が明らかにされました。

- ① 普通交付税は前年比2.8%増となっているが臨時財政対策債の発行可能額が20%減となっていること。
- ② 特別交付税が23、24年度と段階的に縮減されること。
- ③ 五明寺トンネル改修などを対象にした社会資本整備交付金は事業費の60%が交付されるとされているが、不透明感があることなどです。

歳出では、一般会計予算の61%を国・県に依存している中で、予算執行において経費の節減と徹底した効率化を求めました。

また審査の過程では、五

持管理をどのように対応するのか。

④ ランチは他の土地の取得又は借用で発展的に考えられないか。

**町長**

- ① 陳列品については指定管理者と協議していく。
- ② 川が国道の下を通っているのて今のところ園内に流さざるを得ない。
- ③ 町の歴史を物語る建物だと考えており、財政計画に盛り込み年次的に取り組んでいく。
- ④ ランチについては、指定管理者と協議していく。

明寺トンネル改良事業に関して質疑・意見が出され、集中した議論を行いました。

委員会は、本会議の一般質問に対する町長答弁も踏まえ、議論経過を次の4点に集約し、執行側との確認を行いました。

- ① 「五明寺トンネル改良事業計画」の議論は十分なざれていない、引き続き議論に付す。
- ② 実施設計費の計上をもつてルート設定の既成事実とはしない。
- ③ 今後の議論にあたり、「現況トンネルの改修」も選択肢の一つとなる。
- ④ 今後の議論過程で計画変更があっても「国の交付事業の取扱い」に支障を及ぼすものではない、とするものです。

尚、委員会の最終日に討論採決を行い、一部案件に反対意見がありました。賛成多数で全議案が可決されました。

委員長 関根 一義



▲予算審査特別委員会

◎工事施工打合簿の必要性について

**問**

町発注の工事に関して、工事施工及び発注の打合簿が存在しておらず、YOU・遊ランドや湯つ多里館が築5年余で改修工事が必要になり、問題が生じた。今後、このようなことがないように打合簿が必要では。

**町長**

発注者、設計管理者、施工業者の三者間で工程会議を開催し、会議の内容は会議録と

総括質疑

予算審査特別委員会は審査の最終日に、町長に対して5件の総括質疑を行いました。

◎町の土地売却に対する報奨金制度について

**問** 町有地の工業団地、遊休地の売却及び町が用地取得するときに、議員・町民・不動産業者等の協力を得るためにも報奨金制度を。

**町長**

両小学校の跡地遊休地は売却の準備をしていく。工業団地の売却は専門家に委託を考えていたが、提案された報奨金制度については、副町長を座長とするプロジェクトチームで検討していく。

◎田上町少子化対策検討委員会設置について

**問**

平成20年9月に少子化対策検討委員会設置要綱ができ、だが、どのような討議がなされたのか、どのような施策が示されたのか。

**町長**

子育てをする環境づくりを支援し、人口増加につなげていくことを目的として、今後は子どもの教育環境とともにソフト面に取り組んでいく。



総務 産 経

◆議第4号専決処分(平成22年度田上町一般会計補正予算(第6号)の報告について)

- 第1表 歳入
第1表 歳出の内
8款 土木費

説明 例年7回分の除雪予算を、1月中旬に11回の出勤で予算不足が見込まれる為に8回分1千388万8千円を補正。

承認

◆議第7号 田上町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について

説明 非常勤職員も該当させる為に用件・期間等を規定した改正。尚、対象者は30人程。

◆議第10号 田上町ふるさとづくり基金条例の廃止について

説明 竹下内閣の時にふるさと創生基金として1億円が交付され、その後も継続的に交付されてきた。特養の用地取得に2億6千万円程使用し、現在3千662万3千円の残があり、平成11年より移動がない。

◆議第11号 田上町人材育成基金条例の廃止について

説明 平成2年から5ヶ年基金を積み立てて果実運用とした。平成11年より活動は休止し、4千229万7千円の残がある。

◆議第12号 田上町地域環境保全基金条例の廃止について

説明 平成5年に700万円の交付を受けて設立。条件が非常に厳しくて着手されなかった。

◆議第14号 平成22年度田上町一般会計補正予算(第7号)議定について

- 第1表 歳入
第1表 歳出の内
1款 議会費
2款 総務費
(1、4、5項)

説明 不要額の係数整理が主なもの。

◆議第16号 同年度田上町集落排水事業特別会計補正予算(第2号)議定について

説明 不要額の係数整理が主なもの。

◆議第21号 同年度田上町水道事業会計補正予算(第5号)議定について

説明 不要額の係数整理が主なもの。

説明 歳入は交付決定、事業確定による年度末係数整理。歳出は年度末の不要額の整理が主なもの。繰越明許費はきめ細かな交付金事業と住民生活に光をそそぐ交付金事業で総額6千343万2千円。

委員長 泉田 壽一

いずれも原案可決

社会 文教

◆議第14号 平成22年度田上町一般会計補正予算(第7号)議定について

- 第1表 歳出の内
2款 総務費(2、3項)
3款 民生費
4款 衛生費
10款 教育費
第2表 繰越明許費
(3款、10款)

○2款 総務費

戸籍住民基本台帳費85万3千円の減額は、予算より少なくて済んだことによるもの。

○3款 民生費

社会福祉総務費で281万2千円の減額は、職員が退職して新人職員との給与や手当の差額。障害者福祉費で281万円の増額は、義足で120万円、車椅子80万円補助するものなど。児童福祉費で広域入所委託

料689万2千円の増額は、当初の16人が22人になったため。幼稚園その他運営事業で58万3千円の増額は、来年度の入園児が47名増の対応。

○4款 衛生費

合併処理浄化槽補助事業で338万7千円の減額は、予算40基分に対して25基を補助した残額。

○10款 教育費

工事請負費122万7千円の減額は小中学校のトイレ改修の請負差額によるもの。学童保育事業15万1千円の減額は参加者が少なかったため。

繰越明許費

○3款 民生費

1千148万2千円はきめ細かな交付金事業を活用して老人福祉センターの屋根1000㎡を防水シートで改修するもの。

○10款 教育費

845万3千円はきめ細かな交付金事業を活用して羽生田野球場スタンドの修理、給食センターに検収室を設置する。2千200万円は住民生活に光をそそぐ交付金事業を活用して両小学校の図書室の空調設備と図書購入、原ヶ崎交流センターの図書購入に活用。

◆議第17号 同年度田上町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)議定について

1千731万8千円を減額し、歳入・歳出の予算を13億950万7千円とするもの。

◆議第18号 同年度田上町老人保健特別会計補正予算(第1号)議定について

1千63万9千円を追加し、歳入・歳出の予算を1千213万9千円とするもの。

◆議第15号 同年度田上町下水道事業特別会計補正予算(第3号)議定について

説明 不要額の係数整理が主なもの。

◆議第19号 同年度田上町訪問看護事業特別会計補正予算(第3号)議定について

355万4千円を追加し、歳入・歳出の予算を4千164万4千円とするもの。

◆議第20号 同年度田上町介護保険特別会計補正予算(第3号)議定について

1千429万6千円を追加し、歳入・歳出を9億3千375万1千円とするもの。

委員長 斎藤 勲

いずれも原案可決



▲委員会の様子

## 総務 産 経

◆期日 平成23年2月24日

### 総務課

●平成22年度入札状況について  
 落札率100%が2本あるが、1本は不調で随意契約、1本は偶然の産物である。又、反対に落札率36%は異常な数字だが全国瞬時警報システム整備は今後の維持管理を伴う事から可能な工事である。

22年度は21年度より落札率が高い、又近隣の市町村より高いが今後の対応が必要だ。

### 地域整備課

#### ●除雪状況について

除雪実施基準は車道10cm、歩道20cmを目処に車道用18台で早朝除雪8回、日中除雪3回、歩道用除雪1台で日中8回実施。

例年と比較して連続降雪による悪条件の中で、歩道除雪は県との協議の成果で登校前作業と日昼ダンプによる排雪作業に努め町民より評価されている。

●平成22年度工事の発注状況  
 道路維持は30本中29本済。  
 道路改良は7本中7本済。  
 河川改良は5本中5本済。  
 昨年9月の豪雨による公共土木施設災害復旧は5本済。  
 公園管理は1本発注済。  
 合計予算は5千285万円、工事出来高は4千809万8千400円。  
 上下水道は13本中18本済。  
 事故、災害等に対応する為に予算時と発注の数に差異が生じる。合計予算は7千554万3千円、工事出来高は7千180万6千350円。



▲除雪作業

### 産業振興課

#### ●戸別所得補償制度について

戸別補償の説明用パンフレットは、全国対象の内容の為に難解である。地域にマッチした内容にする事で関係農家の理解が図れる。

平成23年度は22年度に対し作付目標面積はマイナス8.31畝でマイナス1.1割になる。農業所得問題が、水田の高稼働率への対応と転作問題を複雑にし、打開策に苦慮している。

●指定管理者制度の現状について  
 指定管理者制度を導入したYOU・遊ランドと椿寿荘は指定管理者の努力により利用者の評価も良いが町も施設整備に努め、協同で向上を図る必要がある。

#### ●湯つ多里館の利用状況

湯つ多里館の利用者数は平成13年オープン以来5年間20万人を保持してきたが、18年に20万人を下回ってから22年度はついに18万人に届きそうもない状況を認識する必要がある。指定管理者制度導入も検討の余地がある。

委員長 泉田 壽一



## 社会 文教

◆期日 平成23年1月28日

### 教育委員会

◎今年度の総括と新年度の方針について  
 基本方針として12ヶ年教育、生涯学習と文化的施設の調査などを中心としたい。

#### ◎新学習指導要領について

①平成23年度から新学習指導要領で授業が行われることになるが、知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」を養うことを目標とする。  
 ②5・6年生が週1時間の外国語活動が導入されるが、その他の教科にも読解力を養いたい。

③授業時間増加の対策は、長期間の休みを利用して、1学期・2学期で2日、3学期で1週間確保するよう規則を変える。



▲小学校の授業風景

### 町民課

◎今年度の総括と来年度の方針について  
 今年度は2ヶ年計画で進めてきた戸籍の電算化が終わった。来年度は徴収機構の3年目でありその後のことが課題となる。

◎後期高齢者医療制度について  
 国保と一体化の方針があるが、平成26年度になりそうとのこと。

◎国保の資格証明証の発行について  
 ①平成22年3月末までの滞納者は228人で金額は6千421万円。  
 ②平成23年1月14日現在短期証明証の交付は13人で、納入に誠意が感じられない人が大部分とのこと。また資格証明証の交付は9人とのこと。

### 保健福祉課

◎今年度の総括と来年度の方針について  
 今年度は川船河の老人福祉センターの室内・浴室の改修、心起園のガスセパレーター設置、5歳児～中学生のフッ素洗口、幼稚園の開園など。

#### ◎竹の友幼稚園について

①今後の滞納者の対策については、子ども手当から保育料や給食費などを保護者の理解を得て天引きできるようにしたい。

#### ◎民生委員について

任期は3年で当町は男性7名、女性18名で欠員はない。しかし、全国では2万3千923人の定員であるが実際は2万2千850人となっており欠員が生じている。

委員長 斎藤 勲



# 議員全員協議会

◆平成23年2月3日

- ①五明寺トンネルについて  
五明寺トンネルに関する三つの道路改良案がメリット・デメリット・工事費の比較表で報告された。  
今後、現道も含め検討する。
- ②地域活性化交付金について  
小中学校の図書室整備事業、旧保育所解体工事など6事業について3月補正予算に計上し、23年度に執行していく。
- ③竹の友幼稚園の事務委任について  
幼児園教育と小学校教育のなめらかな接続を図る為、「竹の友幼稚園」関係の業務を保健福祉課から教育委員会に事務委任する。

◆平成23年3月16日

- ①東北地方太平洋沖地震に対する支援について  
①町独自の支援  
町の教員住宅(11室)を開放する。  
また、YOU・遊ランド、老人福祉センター、コミュニティセンターを一時避難所とすることも報告された。



▲町の対応について質疑

②義援金の受付

- 日本赤十字社新潟支部田上町分區において受付を開始した。
- ③田上町東北地方太平洋沖地震支援対策本部の設置  
3月14日に設置され、新潟県からの支援要請があった場合など、即時に支援出来るように体制の整備をしておく為に設置された。



▲終末処理場

②計画停電に対する町の対応について

- 計画停電時の町施設の対応について報告された。
- ③その他  
●田上町成人式の延期  
●うめまつりの中止

◆平成23年3月24日  
○下水道コスト縮減検討業務委託の成果について

平成22年度に業務委託されていた下水道のコスト縮減の為に5つの案がまとまり概要・実現性・経済性の比較表が報告された。  
いくつかの質疑もなされたが、今後、全員協議会等で深く議論していくことが確認された。

# 一部事務組合議会報告

## 加茂市・田上町消防衛生組合

12月定例会

期日 平成22年12月21日  
場所 加茂市役所

- 副議長の選挙  
小野澤副議長辞職に伴う選挙で熊倉議員が当選した。
- 専決処分の承認について  
加茂市・田上町消防衛生組合職員の給与に関する条例の一部改正について (承認)
- 平成22年度一般会計補正予算(第1号)について  
歳入歳出それぞれ809万9千円を追加し、歳入歳出予算総額を9億6千653万8千円とする。(原案可決)
- 平成21年度一般会計決算の承認について  
歳入9億2千581万7千70円、歳出9億503万7千40円、差引残額2千78万30円となった。

○監査委員の選任について  
現委員坂中春信氏の任期が平成22年12月24日で満了のため

め、再任した。(同意)

組合議員

熊倉良平 泉田壽一  
関根一義 渡邊正策

## 三条地域水道用水供給企業団

第1回定例会

期日 平成23年2月24日

場所 三条地域企業団事務所  
○平成23年度予算を議決しました。

区分	予定水量m <sup>3</sup>		年間給水料金(税込み)(円)
	1日平均水量	年間水量	
基本料金 81円/m <sup>3</sup>	1,375	503,250	42,801,412
使用料金 15円/m <sup>3</sup>	2,300	841,800	13,258,350
合計			56,059,762
三条市・加茂市・田上町	合計	10,833,600	1,117,549,000

組合議員

吉田 昭一  
坪谷 久雄  
池井 豊

## 三条・燕・西蒲・南蒲広域養護老人ホーム施設組合

第1回定例会

期日 平成23年2月17日

場所 三条市役所  
○平成23年度予算を議決しました。  
予算総額は歳入歳出それぞれ2億4千88万7千円。

組合議員 塚野 一二三

## 中越福祉事務組合

第1回定例会

期日 平成23年2月23日

会場 まごころ学園

●平成23年度歳入歳出予算の総額はそれぞれ3億5千325万円とする。(田上町の経費分は542万7千円とする。)

原案可決

組合議員

川口 與志郎

## 後期高齢者医療広域連合

期日 平成23年2月26日

場所 新潟自治会館

- ◆1号議案 平成22年度一般会計補正予算。17億2千418万4千円を追加して歳入・歳出を29億748万9千円とするもの。
- ◆2号議案 平成22年度特別会計補正予算。27億9千628万7千円を追加して歳入歳出を2千435億2千784万7千円とするもの。
- ◆3号議案 平成23年度一般会計予算。歳入・歳出を11億7千830万円とするもの。
- ◆4号議案 平成23年度特別会計予算。歳入・歳出を2千442億400万円とするもの。
- ◆5号議案 規約の改正。刈谷田川水防事務組合を脱退させるもの。

組合議員

斎藤 勲

## お見舞い申し上げます

東日本大震災において、犠牲になられた方々のご冥福をお祈り申し上げますと共に、被害を蒙られた皆様方に心よりお見舞い申し上げます。田上町では地震支援対策本部を立ち上げ、即日支援を行えるよう支援内容等の準備に入り、空いている教員住宅や第1次避難所として、YOU・遊ランドなど3ヶ所に120名の避難者の受入体制を整え、避難者を支援しています。

## ありがとうございました



私達は町民の皆さんから、平成19年4月の改選で議員としての職務をいただき、このたび任務を終えます。これからもそれぞれの立場で、田上町の発展のために更なる努力をしてまいります。



←左から  
小池議長  
坪谷議員  
塚野議員

小池議長、坪谷議員、塚野議員が在職15年以上で全国町村議会議長会から表彰されました。

平成23年度の定例会は予定が決定次第、ホームページなどでご連絡いたします。

### 編集後記

「暑さ寒さも彼岸まで」と言い伝えられており、春の彼岸が来れば農作業の準備で忙しくなる農家の方も、3月下旬になっても雪マークの天気予報には戸惑っておられます。

私達広報特別委員会の2年の任期も今年4月で任務を終えます。このたびの第88号の議会だよりは、議会定例会・平成23年度予算審査・各常任委員会・部事務組合などの審議内容と、議員の活動状況なども紹介しながら、より解り易く・見やすく、写真を多く取り入れ編集に努め、皆さんにお届け致しました。

次回からは、新メンバーが担当しますので、ご支援宜しく  
お願い申し上げます。

(渡邊 記)

委員長 渡邊 正策  
副委員長 池井 豊  
委員 塚野一二三  
委員 斎藤 勲  
委員 泉田 壽一  
委員 川口與志郎